



第54回茨城県青少年相談員研修大会を開催しました



茨城県福祉部
市村 部長



県青少年相談員連絡協議会
澤幡 会長

日 時：令和6年10月30日（水）
午後1時30分から午後4時

場 所：茨城県庁9階 講堂

参加者：129名

大会内容：表彰式、講演会、大会宣言



県内各地域において青少年の健全育成活動を行う青少年相談員の資質向上と、さらなる活動の促進を目的として開催いたしました。



講演会

子どもたちの健やかな成長を願って ～寄り添うやさしさと立ち向かう強さと～



元法務省矯正局所管少年
院院長、元丸亀市教育委員

会教育長であり、現在はスクールカウンセラーをされている中野レイ子先生にお越しいただきました。

講演では、青少年との向き合い方、寄り添い方について、矯正施設に勤務されていた頃の実体験を織り交ぜた貴重なお話をいただきました。



知事ほう賞（永年活動者）



金 田 明	(ひたちなか市)	黒 澤 ゆかり	(ひたちなか市)	根 本 千津子	(ひたちなか市)
薄 井 恵津子	(ひたちなか市)	海老沢 一 美	(茨 城 町)	高野橋 朋 子	(茨 城 町)
加 藤 かすみ	(茨 城 町)	篠 塚 洋 一	(潮 来 市)	田 口 勘 司	(鉾 田 市)
永 田 繁 彦	(つ く ば 市)	酒 井 賢 治	(かすみがうら市)	太 田 孝 行	(かすみがうら市)
秋 田 義 弘	(常 総 市)	田 島 利 秋	(常 総 市)	大 島 定 男	(常 総 市)
黒 澤 重 美	(常 総 市)	石 川 雅 美	(常 総 市)	中 村 博	(常 総 市)
五月女 安 彦	(常 総 市)	染 谷 清一郎	(境 町)		

功労者表彰（一般功労者表彰）



鈴 木 積 穂	(高 萩 市)	豊 田 正 明	(高 萩 市)	中 橋 登志峰	(常陸大宮市)
木 村 政 久	(大 子 町)	岡 田 由美子	(大 子 町)	長 岡 孝	(ひたちなか市)
吉 田 実	(ひたちなか市)	片 岡 さち子	(ひたちなか市)	小 泉 芳 邦	(ひたちなか市)
川 上 由美子	(笠 間 市)	田 口 光 一	(笠 間 市)	大 山 知 子	(東 海 村)
島 田 昌 和	(行 方 市)	田 口 省 吾	(行 方 市)	市 塚 信 弥	(行 方 市)
川 村 光 生	(土 浦 市)	中 山 恵 子	(土 浦 市)	川 下 洋	(土 浦 市)
小 貫 信 之	(石 岡 市)	岩 田 忠	(石 岡 市)	遠 藤 範 子	(つ く ば 市)
森 田 実	(牛 久 市)	高 野 剛	(下 妻 市)	小 川 智 子	(結 城 市)
山 中 博 嗣	(結 城 市)	直 井 俊 行	(筑 西 市)		

知事ほう賞（退任者）



大 高 忠	(高 萩 市)	鈴 木 明 徳	(高 萩 市)	関 根 美 智 代	(高 萩 市)
茂 又 美 子	(高 萩 市)	鈴 木 桂 子	(日 立 市)	武 藤 征 也	(常 陸 太 田 市)
鈴 木 宣 子	(水 戸 市)	内 田 正 弘	(ひ たち な か 市)	八 文 字 弥 利	(小 美 玉 市)
柴 田 淑 恵	(鹿 嶋 市)	小 林 恵 子	(土 浦 市)	菊 池 勇 二	(土 浦 市)
坂 本 和 子	(石 岡 市)	篠 木 壽 美 代	(取 手 市)	築 田 敏 雄	(五 霞 町)
鈴 木 茂 男	(桜 川 市)				

表彰を受けられた方々を代表して



この度は、青少年相談員の推進活動を通して知事ほう賞を頂き、大変光栄に思います。

青少年がたくましく心豊かに成長することは、世の全ての人の願いであるとともに、私たちに課せられた重要な使命です。それは、社会全体が担うべきものであり、青少年の健全育成に我々一人ひとりがかかわっていくことが重要であるのではと考えます。困難を有する青少年が、速やかに困難な状態から脱し、あるいは軽減し、成長・活躍していける状況を作る必要があります。そのため、青少年相談員は、各青少年育成機関と協力し、家族を含め、誰ひとり取り残さず、かつ非常時においても途切れることなく支援しています。子どもの多様な価値観を認め、家族内のコミュニケーションを図るように心掛け、いつでも親や学校、地域社会が温かく見守り、子どもを孤立させないことが大切だと考えます。これからも関係機関や HP を通じて連携を図りながら尽力してまいります。

「子どもたちが、生きていきやすい未来のために」

知事ほう賞（永年活動者）受賞 篠塚 洋一（潮来市）

この度は、知事ほう賞の栄を賜りありがとうございました。

青少年相談員として長年見てきたことの1つに携帯電話があります。携帯電話がなかったころは、主に青少年の態度などを見ていました。携帯電話が出てきて、学校に持ってきてはダメと言われ、スマートフォンが出てきてからは、歩きながらスマホを見てはダメと言われていました。今や、電車の中でもスマホに熱中して本を読んでいる人は少なくなりました。スマホは、百科事典を超えて、メールもできゲームもできます。大人も青少年も手放せないものになってしまいました。

これからも、青少年を見守り続けていきたいと思ひます。

知事ほう賞（退任者）受賞 鈴木 明徳（高萩市）

この度は、青少年相談員活動に対し功労者表彰の栄誉を賜り、誠にありがとうございます。

青少年相談員の拝命を受け、青少年の見守り・声かけを主に活動し、加えて通学路や公園等での防犯活動も実施してきました。近年は、ゲーム等の普及で子ども達の外で遊ぶ姿が少なくなってきています。しかしながら、私の住む地域の公園では、青空の下笑顔で遊ぶ子ども達を多く見ることができ、大変幸せでした。

今後は、防犯パトロール員として子ども達が安全・安心に暮らせる環境を見守っていきたくと思ひております。

功労者表彰受賞 長岡 孝（ひたちなか市）

令和5年度茨城県青少年相談員連絡協議会(いばらき子ども見守りネットワーク)事業報告

事業実績及び成果

青少年相談員の資質の向上と地域における青少年相談員活動の推進を図り、青少年の健全育成と非行防止に資することを目的として、次の事業を実施しました。

監査報告

茨城県青少年相談員連絡協議会会則第9条の規定に基づき、令和5年度の事業報告書、収支決算書、その他の付属書類について、令和6年4月25日に監査した結果、会計事務処理並びに決算内容について、適正であることを認め報告いたします。

監 監

令和6年4月25日
英 則 栄
結 坂 本
事 城 本
事 英 則

令和5年度事業報告

実施事業名	実施期日	事業の概要
総会の開催	R5.5.24	・令和4年度事業報告及び収支決算について ・令和5年度運営方針及び事業計画、予算について(会場:茨城県市町村会館)
常任理事会の開催	① R5. 8.25 ② R5.11.30 ③ R6. 3.22	事業の円滑な実施を図るため、事業の執行について検討。 ① 研修大会の運営及び功労者表彰等について ② 研修大会の結果及び協議会の運営等について ③ 総会の議案等について
その他の会議	① R5.4.24-25 ② R5. 8.25 ③ R5.11.30	① 監査(神栖市会場、八千代町会場) ② 機関紙第51号第1回編集会議 ③ 機関紙第51号第2回編集会議
機関紙の発行	R5.12(第51号)	県連及び各地区の事業内容の紹介などを通し、青少年相談員相互の情報交換を図る。
第53回青少年相談員研修大会	R5.10.27	青少年相談員の活動の充実及び資質向上を図るため、研修大会を開催。(会場:県庁9階講堂) 講演会(動画配信) 講師 幸島 美智子 氏 「地域における防犯対策～子どもを守るために大人にできること～」
功労者の表彰	R5.10.27	功労のあった青少年相談員に対し、知事、県連会長の感謝状を贈呈(研修大会時に実施)。 ・知事ほう賞 54名 ・功労者表彰 60名
ブロック会議	随時	幹事地区が開催するブロック会議にブロック担当の副会長、ブロック選出の常任理事が参加し、相互に情報交換や意見交換を行うことにより、ブロック内の連携強化を図る。
ブロック研修会(研究・協議を含む)の開催	R5.10 ~ R6.2	ブロック研修会を通して、青少年相談員の資質の向上を図り、ブロック内の連携を深め、広域的な青少年問題に対応できる体制づくりを推進。
地域活動推進(関係機関・団体との協力・連携)	随時	・県連役員が、各地域や関係機関・団体等を訪問し連携を深めるとともに、各ブロック市町村間の交流を深め、地域活動の推進を図る。 ・茨城県いじめ問題対策連絡協議会への参加。 ・道德教育推進委員会への参加。 ・(公社)茨城県青少年育成協会が実施する事業等。 ・茨城県 20歳未満喫煙防止対策協議会及び20歳未満喫煙防止街頭キャンペーン
地域活動推進(子ども食堂新規開設活動への支援)	R5.12	地域の子ども居場所作りを通して、青少年の健全育成を推進する青少年相談員の子ども食堂開設活動を支援。
青少年相談員手帳の販売	R5.6	「青少年相談員の手引き」の携帯版である青少年相談員手帳を販売。
市町村等への補助金交付	R6.3	社会全体で青少年の健全育成と非行防止を推進するため、コンビニエンスストア等の青少年がよく立ち寄る業種の店舗への条例・関係法令遵守の働きかけと、青少年とその保護者へのインターネット安全利用に関する意識啓発活動を実施し、社会環境の健全化を図った市町村等に補助金を交付。
研修動画の配信	R5.6 ~ R6.3	県内各地の青少年相談員に研修機会を提供するため、作成した研修動画を動画共有サービスにて配信。 ・講師 茨城大学人文社会科学部教授 正保 春彦 氏 「現代の子どもたちを理解していくために」
環境健全化啓発事業	R5.6 ~ R6.3	7月(青少年の非行・被害防止全国強調月間)及び11月(秋の子どもまんなか月間)の期間を中心として、県内において青少年を取り巻く環境健全化に対する県民の意識啓発を図るため、環境健全化活動及び「茨城県青少年の健全育成等に関する条例」等の普及啓発活動を実施し、青少年の健全育成を推進。

令和5年度収支決算書

■ 一般会計

1 収入の部

単位:円

項目	当初予算額	決算額	比較増減額	摘要
1 会費	1,059,000	1,044,500	△ 14,500	500円×2,089人
2 補助金	1,519,000	1,303,660	△ 215,340	県補助金 事業費補助 300,000円 店舗訪問活動費 1,003,660円
3 青少年相談員手帳販売	320,000	317,500	△ 2,500	青少年相談員手帳販売収入 @500円×635冊
4 雑収入	450	12	△ 438	預金利子
5 繰越金	1,111,550	1,111,550	0	前年度繰越額
計	4,010,000	3,777,222	△ 232,778	

2 支出の部

単位:円

項目	予算額	決算額	比較増減額	摘要
1 会議費	350,000	267,070	△ 82,930	
総会費	170,000	129,650	△ 40,350	会場使用料、資料印刷代等
常任理事会費	150,000	121,130	△ 28,870	役員旅費等
その他会議費	30,000	16,290	△ 13,710	三役会、監査等の役員旅費等
2 事業費	3,154,000	2,776,131	△ 377,869	
機関紙発行費	120,000	93,533	△ 26,467	2,700部×1回(51号)
研修大会費	510,000	611,280	101,280	講師派遣、講演動画制作、大会プログラム印刷等
功労者表彰費	60,000	47,135	△ 12,865	感謝状等
ブロック研修会費	645,000	588,053	△ 56,947	8ブロック×@80,000 ※返還有
地域活動推進費	280,000	115,670	△ 164,330	関係機関訪問旅費、子ども食堂開設補助等
青少年相談員手帳発行費	320,000	316,800	△ 3,200	相談員手帳640冊作成(635冊+予備等5冊)
補助費(店舗等訪問業務補助金)	1,219,000	1,003,660	△ 215,340	「協力する店」店舗訪問及びインターネット安全利用普及啓発業務補助
3 負担金	6,000	5,550	△ 450	(公社)茨城県青少年育成協会年会費
4 事務費	100,000	90,857	△ 9,143	通信運搬費、補助金振込手数料等
5 積立金	50,000	50,000	0	55周年記念誌発行資金積立
6 予備費	350,000	218,696	△ 131,304	研修動画制作等
計	4,010,000	3,408,304	△ 601,696	

3 収入-支出

単位:円

	予算額	決算額	比較増減額	摘要
収入総額	4,010,000	3,777,222	△ 232,778	
支出総額	4,010,000	3,408,304	△ 601,696	
差引残高	0	368,918	368,918	次年度予算へ繰越

■ 特別会計 記念誌積立金(R3-R7)

単位:円

科目	前年度繰越金	令和5年度中 増減額		令和5年度末現在高	付記
		増	減		
積立金	100,000	50,000	0	150,000	
雑収入	1	2	0	3	
計	100,001	50,002	0	150,003	

令和6年度

茨城県青少年相談員連絡協議会(いばらき子ども見守りネットワーク)運営方針及び事業計画

運営方針

国は、全ての子どもや若者が、保護者や社会に支えられ、生活に必要な知恵を身に付けながら不安や悩みを抱えたり、困ったりしても、周囲のおとなや社会にサポートされ、問題を解消したり、乗り越えたりすることができる「こどもまんなか社会」の実現を目指しています。

こうした中、いばらき青少年・若者応援プランの目標である「活力があり、青少年・若者が日本一幸せな県」を実現するためには、家庭や学校、地域そして警察等関係機関・団体が連携・協働して取り組む必要があります。そこで、当会としては、各種研修会等を実施し、青少年相談員の資質向上を図るほか、青少年相談員活動の一層の活性化を図られるよう各地区協議会を支援するなど、青少年に及んでいる様々な問題に対応してまいります。

また、「青少年健全育成に協力する店」登録等活動や青少年とその保護者へのインターネット安全利用に関する意識啓発活動など、青少年を取り巻く社会環境の健全化に、より一層取り組んでまいります。

重点事業項目

1. 青少年相談員研修大会の開催
2. ブロック研修会の開催
(研究・協議を含む)
3. 環境健全化啓発活動の推進
(「青少年の健全育成に協力する店」登録等活動、インターネット安全利用に関する意識啓発活動の推進 等)
4. 関係機関・団体等の事業への協力及び連携促進
5. 青少年相談員の新たな取り組みへの理解・協力

事業計画

実施事業名	実施期日	事業の概要
総会の開催	R6.5.30	・令和5年度事業報告及び収支決算について ・令和6年度運営方針及び事業計画、予算について
常任理事会の開催	随時	事業の円滑な実施を図るため、事業の執行について検討。
その他の会議	① R6.4.25 ② 随時	① 監査 ② 編集会議の開催
機関紙の発行	R6.12 (第52号)	県連及び各地区の事業内容の紹介などを通し、青少年相談員相互の情報交換を図る。
第54回青少年相談員研修大会	R6.10 下旬	青少年相談員の活動の充実及び資質向上を図るため、研修大会を開催(会場: 県庁9階講堂)。
功労者の表彰	R6.10 下旬	功労のあった青少年相談員に対し、県知事、県連会長の感謝状を贈呈(研修大会時に実施)。
ブロック会議	随時	幹事地区が開催するブロック会議にブロック担当の副会長やブロック選出の常任理事が参加し、情報交換や意見交換をすることにより、ブロック内の連携を強化。
ブロック研修会の開催	R6.10 ~ R7.3	ブロック研修会を通して、青少年相談員の資質の向上を図り、ブロック内の連携を深め、広域的な青少年問題に対応できる体制づくりを推進。
地域活動推進 (関係機関・団体との協力・連携)	随時	<ul style="list-style-type: none"> ・県連役員が、各地域や関係機関・団体等を訪問し連携を深めるとともに、各ブロック市町村間の交流を深め、地域活動を推進。 ・社会を明るくする運動への参加。 ・茨城県いじめ問題対策連絡協議会への参加。 ・道徳教育推進委員会への参加。 ・(公社)茨城県青少年育成協会が実施する事業等への参加。 ・茨城県20歳未満喫煙防止対策協議会及び20歳未満喫煙防止街頭キャンペーンへの参加。
地域活動推進 (子ども食堂新規開設活動への支援)	R6.6 ~ R7.3	地域の子どもの居場所作りを通して、青少年の健全育成を推進する青少年相談員の子ども食堂開設活動を支援。
青少年相談員手帳の販売	R6.6	「青少年相談員の手引き」の携帯版である青少年相談員手帳を印刷・販売。
市町村等への補助金交付	R7.3	コンビニエンスストア等の青少年がよく立ち寄る業種の店舗への条例・関係法令遵守の働きかけと、青少年とその保護者へのインターネット安全利用に関する意識啓発活動を実施し、社会環境の健全化を図った市町村等に補助金を交付。
環境健全化啓発事業	通年	7月(青少年の非行・被害防止全国強調月間)及び11月(秋のこどもまんなか月間)の期間を中心として、県内において青少年を取り巻く環境健全化に対する県民の意識啓発を図るため、環境健全化活動及び「茨城県青少年の健全育成等に関する条例」等の普及啓発活動を実施し、青少年の健全育成を推進。
新たな取り組みの推進	通年	子育て支援のボランティア、里親制度、インターネット安全利用の普及啓発活動への理解と協力。

青少年相談員の活動紹介



第1ブロック

高萩地区

青少年健全育成のために

高萩市青少年相談員協議会 会長 坂本 栄

高萩市青少年相談員協議会には、小中高の教員十名を含む三十八名の相談員があり、三班に分かれて活動しています。

主な活動は、第一に見回り活動として、月一回の定例会後の巡回、お祭りや学校休業中の特別巡回等を行っています。六月には、高校・警察と合同で列車に乗り込んで、主に高校生の様子を把握し、乗車マナーの指導を行っています。

第二は、少年探検講座です。八月上旬に、小学五・六年生と中学生が対象で、「高萩の自然を探る」と題して体験活動を行います。豊かな自然や地域の魅力に触れ、仲間との絆を深めるよい機会となっています。

十一月には、市内の幼保小中等の作品を展示する「子



ども作品展」を開催します。

第三は、相談員の研修です。民生委員児童委員協議会と隔年で青少年健全育成関係団体合同研修会を主催しています。保護司会やPTA連絡協議会等も参加します。

十一月の「高萩市の教育を考えるつどい」では、協力団体として講演会等に参加しています。

第四は、青少年相談員が学校を訪問して、授業等の参観や懇談を行う活動です。子供たちの様子を把握し、懇談を通してよりよい情報交換を行うことを目指しています。

今後も、関係機関や学校等と連携して、青少年健全育成のため、日々の活動に取り組んでいきます。



第2ブロック

大子地区

近年の青少年と相談員の使命とは

大子町青少年相談員連絡協議会 会長 益子 勝博

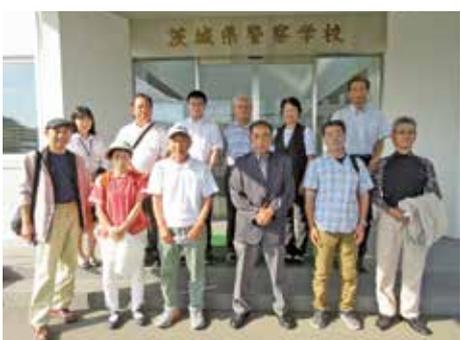
大子町青少年相談員連絡協議会は、9地区より選出された相談員27名(内教員4名含む)で構成され、地区活動及び全体の事業活動を実施しております。

まず、通年として、さわやかマナーアップキャンペーン(あいさつ運動)を全小中学校2〜3回程度実施、高校は他団体と合同で年1回実施をしております。また、7団体による青少年問題を考える合同研修会・人権研修会を年1回実施、他団体の街頭キャンペーンに参加、インターネット安全利用に関する意識啓発活動に参加等、他団体そして関係機関と情報を共有し活動を進展しているところとあります。店舗訪問活動、町主催のイベントに参加、そして相談員の資質向上を図るため視察研修等も実施しております。

少子化が進み児童生徒と出会える機会が激減しています。またインターネットスマートフォン・SNS等での事件、いじめ、児童虐待の増加など青少年をめぐる問題は深刻化しています。そこには、大人自身の規範意識の低下もあると考えます。

私達相談員も固定概念にとらわれず、学校家庭地域及び関係機関ともっと深掘りして協力連携を図り、先を見すえ相談員のスキルの向上を図るとともに、児童生徒とふれあいを計り、青少年の健全育成につながる寄り添った活動に努めていきたいと思っております。

広報啓発活動の一環として相談員の活動を理解していただくため「大子町青少年相談員だより」を昨年より発刊致しました。以上が活動内容になります。ただ、近年



第5 ブロック

つくば地区

青少年の健全育成のために

つくば市青少年相談員連絡協議会 会長 中山 正巳



つくば市青少年相談員連絡協議会は、市内6支部（合併前の6町村）60名の青少年相談員が活動をしています。

相談員総会・研修会をはじめとして、支部長会議を毎月実施し情報提供・情報共有をしています。

主な活動として、二つ目は「あいさつ・声かけ運動」「マナーアップ運動」の実施です。つくば市は32小学校14中学校4義務教育学校と多くの学校があり、学校と相談員とが連携を取り合いながら通学路や正門前で子供

たちの変化や成長を見守っています。継続は力なり、と言われるように始めは返事がなかったり、聞き取れないような小さな声でしか発しなかった児童たちが、大きな声で返事をしてくれるようになり、何事も続けることで成果が得られるものと実感しています。

二つ目は「青少年の健全育成に協力する店」店舗訪問の実施です。TX沿線地区の目まぐるしい開業閉業の確認に全相談員が、できる範囲で登録活動をしています。

特にフランチャイズ系の店舗には苦慮している状況ですが、青少年のためであることを念頭にし、何度も足を運び協力をお願いしています。

今後は、便利である反面、危険性が潜んでいるSNSについて、青少年が事件事故に巻き込まれないよう、被害者加害者にならないよう、我々青少年相談員も全力でSNSの利便性を学び、危険性を伝えていき、青少年の健全育成に努めていきたいと考えております。

第7 ブロック

常総地区

青少年が健全に育成される社会を目指して

常総市青少年相談員連絡協議会 会長 五月女 安彦

常総市青少年相談員連絡協議会には、小学校、中学校、高校の教員と、地域住民、総勢48名の青少年相談員が在籍しております。当協議会の主な活動としては、街頭指導活動が挙げられます。

特に夜間の街頭指導に力を入れており、夏休みの夜や市内の祭りなど、夜間に出歩く青少年が増えるタイミングで活動しています。常総きぬ川花火大会での街頭指導などはその最たるもので、市内のみならず市外、県外から多くの人々が訪れ、合わせて多くの青少年が街を歩く日でもあります。そんな中であって青少年が事件・事故に巻き込まれていないか、何か困ったことは起きていないか経験豊富な青少年相談員が巡回し、指導を行っています。

また、市内で行われる「常総市少年の主張大会」においても実行委



員として当協議会が関わっており、大会を通じて青少年の健全育成を後押ししております。

コロナ禍が落ち着き、街やイベントの様子などはコロナ以前に戻りつつありますが、一方で青少年を取り巻く環境は複雑に変わり続けています。そんな中にあっても日ごろの活動に多大なるご尽力をいただいている青少年相談員の皆様にはこの場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

そして今後とも青少年が健全に育成される社会を目指し、常総市青少年相談員連絡協議会は活動を続けていく所存です。

STOP! 大麻!!

オーバードーズ問題

【大麻の現状】
若年層を中心に、大麻事犯の検挙人員が増加傾向にあり、大学生の大麻乱用、大麻の形態の多様化が問題となっています。



【大麻の危険性】
心身ともに発達途上の思春期では、**深刻な薬物依存を引き起こしやすい**と言われています。また、**幻覚など、身体に大きな影響を与えます。**

大麻成分を混ぜた危険ドラッグ・食品の例



不安や悩みの相談先一覧 (業務課HP)



【オーバードーズ(OD、過量服薬)とは】
市販薬などを用法用量を守らず大量に飲むことです。近年、**若年層を中心に増加しており、社会問題となっています。**

「過去1年以内に市販薬の乱用経験がある」という高校生 **約60人に1人の割合** (高校生全体の1.57%、推計値)

引用:「薬物使用と生活に関する全国高校生調査2021」(国立精神・神経医療研究センター)

【オーバードーズの危険性】
身体への大きなダメージで**救急搬送**されたり、自力で**止められなくなる**こともあります。

【なぜ、オーバードーズが増えているのか】
家庭や学校での不安や悩みを忘れようと、**SNS等でODの情報を知り**、さらに、違法薬物とは異なり、ネットや店舗で**市販薬が購入**できるためです。

【オーバードーズ問題への対策】
薬の適正使用の啓発だけでなく、不安や悩みで困った時の**相談先の啓発**も大切です。

茨城県保健医療部医療局薬務課

おめでとうございます! 令和6年度茨城県表彰受賞者

東海村青少年相談員 鈴木綾子様

功績概要: 多年にわたり、青少年への声かけ・相談活動に取り組み、青少年の健全育成と非行防止に貢献



役員紹介

役職	氏名	ブロック	市町村	担当委員	役職	氏名	ブロック	市町村	担当委員	
会長	澤幡敬智	1	日立市	総務・編集	常任理事	米川利恵	4	鉾田市	総務	
副会長	大森留里子	2	常陸大宮市	編集	//	高野典昭	5	土浦市	編集	
//	佐藤百合子	3	東海村	総務	//	宮田道子	5	かすみがうら市	総務	
//	飯塚壽子	6	牛久市	編集	//	木村威夫	6	美浦村	編集	
//	古川久司	8	結城市	総務	//	田村由美子	6	阿見町	総務	
常任理事	神白芳伸	1	北茨城市	編集	//	五月女安彦	7	常総市	編集	
//	杉本優子	1	高萩市	総務	//	黒澤重美	7	常総市	総務	
//	石井勝三	2	常陸太田市	編集	//	保坂悦子	8	筑西市	編集	
//	豊田洋子	2	常陸太田市	総務	//	北島直廣	8	八千代町	総務	
//	遠藤たか子	3	ひたちなか市	編集	監事	坂本栄	1	高萩市	-	
//	木村雅道	3	茨城町	総務	//	結城英則	5	つくば市	-	
//	須加野栄	4	鉾田市	編集	顧問	葉梨衛		山岡恒夫	小堀和久	山口恒巳

ご意見・ご感想をお待ちしております。

会報に関することや青少年相談員に関すること等のご意見・ご感想をお待ちしております。

はがき・封書・FAX・Eメール等でお寄せください。

あて先

〒310-8555 (住所記載不要)
茨城県青少年相談員連絡協議会
いばらき子ども見守りネットワーク事務局
(茨城県青少年家庭課内)
TEL.029-301-2183
FAX.029-301-2189
E-mail:seishonen@pref.ibaraki.lg.jp

【編集後記】
会報第52号を最後までお読みいただきありがとうございます。本号では、第54回となる研修大会の様子や、各地区の取り組みについて掲載させていただきました。組みましたが、いかがでしたでしょうか。
さて、今回の研修大会は、コロナ禍より続いてきた人数制限を解き、各ブロックから多くの青少年相談員の皆様にご参加いただくことができました。表彰式や中野レイ子様の講演を大勢の方々と共に、活気のある大会となりましたことをとても嬉しく思います。
最後になりましたが、刊行に当たりご助力いただきました各ブロックの皆様、編集委員の皆様様に深く感謝申し上げます。
(保坂)

